

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース



Double Frame

ダブルフレーム構造

開口部上側は、「H構造」で、アッパーインナーライナーホルダーとしてオリジナルシリコンウェザーストリップがホールドされています。

開口部下側は、「逆さコの字構造」で、剛性アップと、ローインナーライナーホルダーの役目をしています。

参考アルミトップ ケース

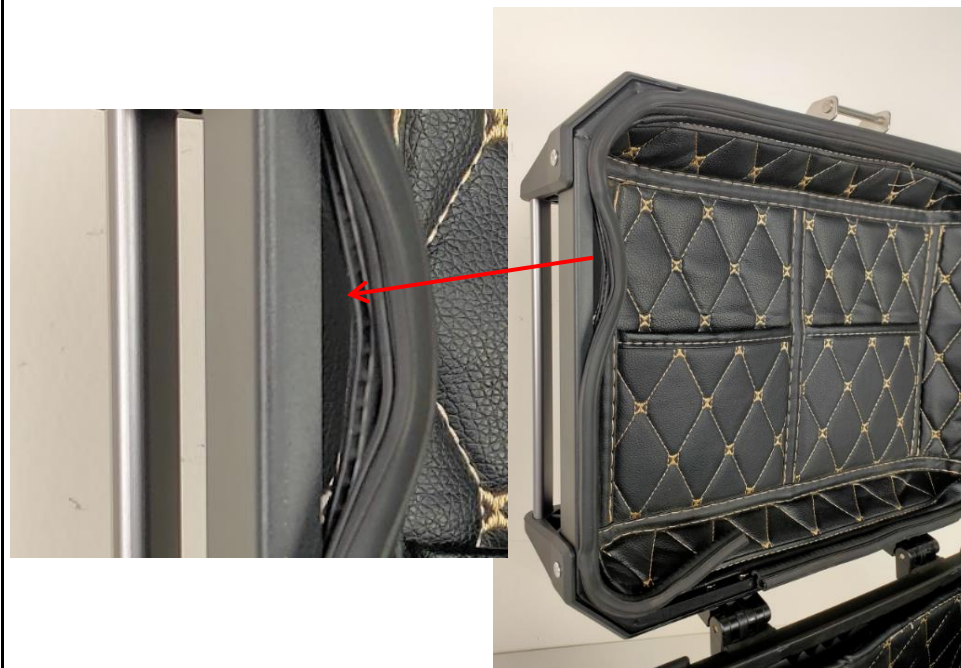


弊社工場試作品ですが、インナーライナーホルダーが無い場合は、すき間が生じる場合があります。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース



参考アルミトップ ケース



うわぶたのダブルフレーム内（H構造内）には、**厚さ10mmの「オリジナルシリコンウェザーストリップ」**を装備し、閉じたときは下側ケースと確実に密着し、高い防水性を保ちます。

ゴム製のウェザーストリップを縁取りにはめ込む仕様は、外れや劣化、又は雨水の侵入が心配です。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース

参考アルミトップ ケース



クーケースはうわぶたを閉じたとき、**外観上「ウエザーストリップ」を挟まない構造**です。また、わぶたが覆いかぶさる為、すっきりとした高級感と確かな雨水の侵入を防止しています。
キャッチロックバネ力で密封性を高めていないので、解除状態で半開き感はありません。

うわぶたとケースで挟む構造「むき出しのゴム製ウエザーストリップ」は、外観を損ね、紫外線によりゴムの劣化を早めます。
キャッチクリップスプリングの引っ張り強度で密着度を保つ為、ロックから遠い部分での密着力が低い事が予想され、また、ゴム部が経年劣化など、やせた場合はロック機構スプリングに遊びが出来る恐れがあります。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース



参考アルミトップ ケース



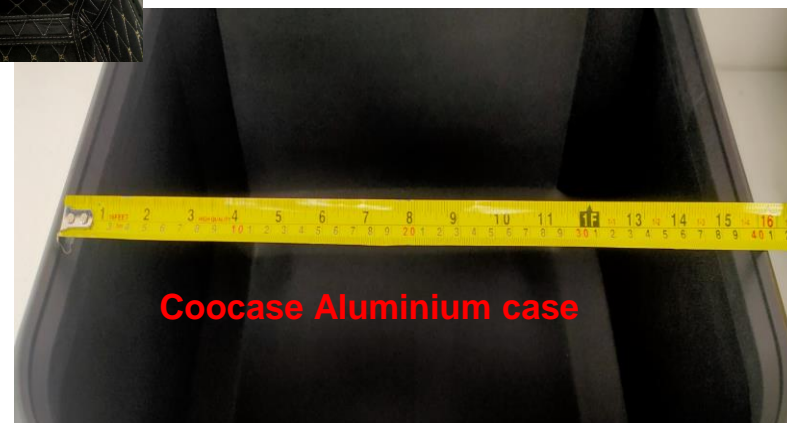
クーケースは、マルチポケット（オプションの小物入れ）は、上部のインナーライナーへの装備とせず、**内部荷かけフックにベルクロを用いた吊り下げ式**にしています。これにより、ケース内高温時等で、小物を収納した場合で、インナーごとのケース内落下を防いでいます。

弊社試作品でのテスト結果では、内装にフェイクレザーやキルティング材を使用した場合、湿気を含み重くなったり、脱落の常習化がありました。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース



参考アルミトップ ケース

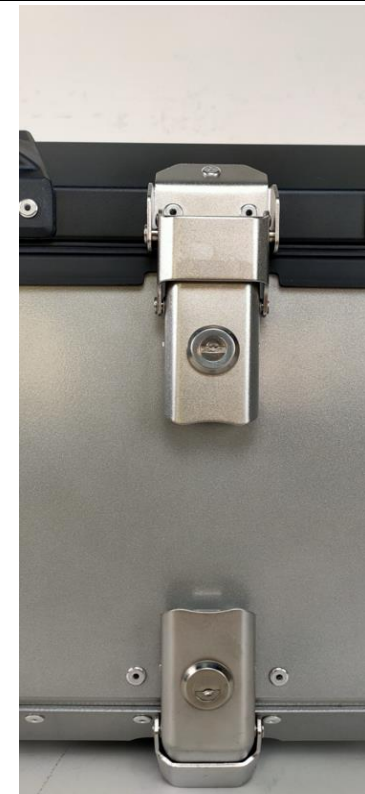
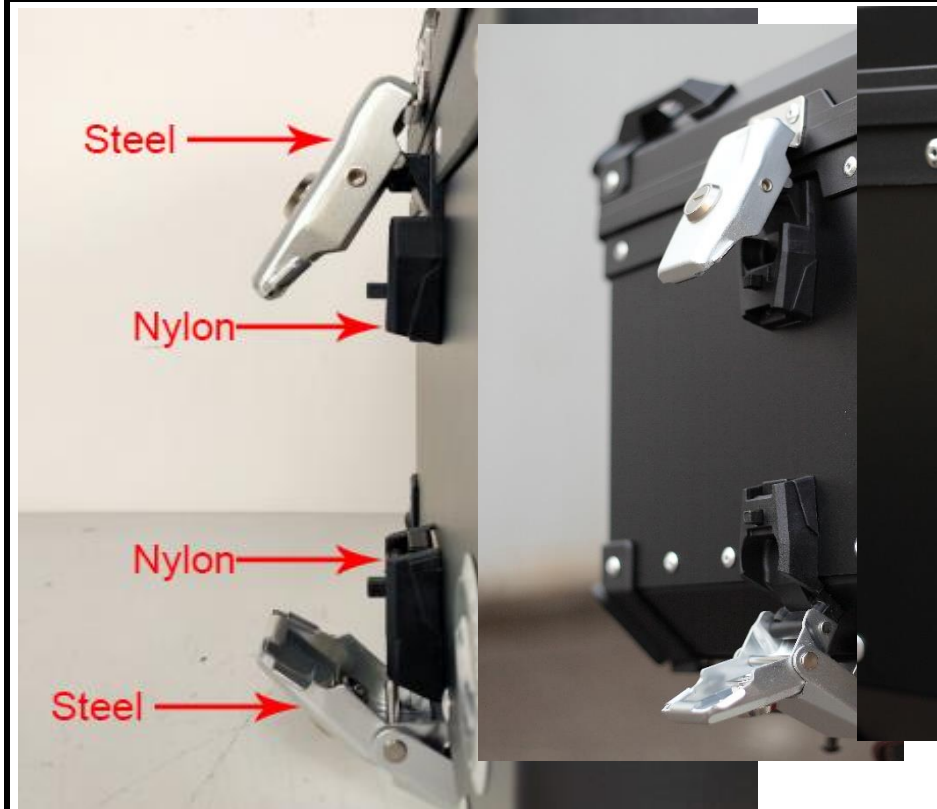


上下のウレタンインナーライナーは、**軽量で速乾性に優れ、ダブルフレームに端面を差し込み装備**することにより、シンプルで且つ美しい内装で、ケース内の寸法をフルに活用できます。

インナーライナーに、フェイクレザーやキルティング材を使用した場合、隙間や厚み、重さといった要素が心配されました。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース

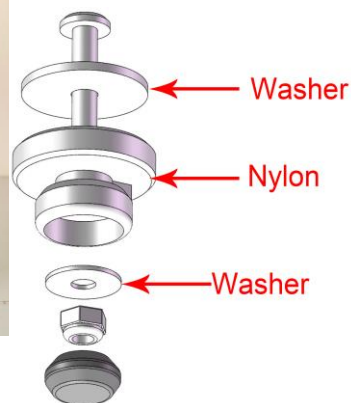
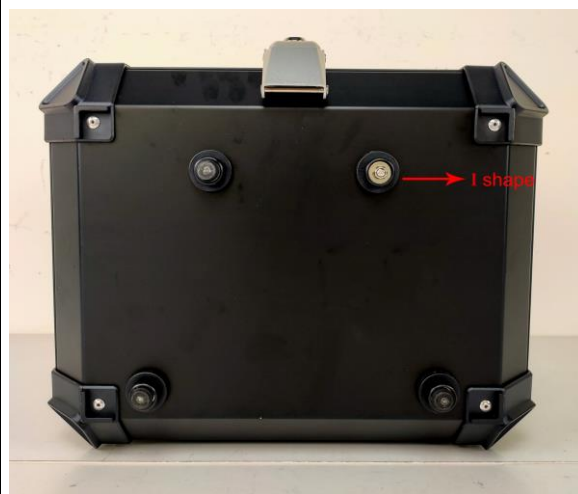
参考アルミトップ ケース



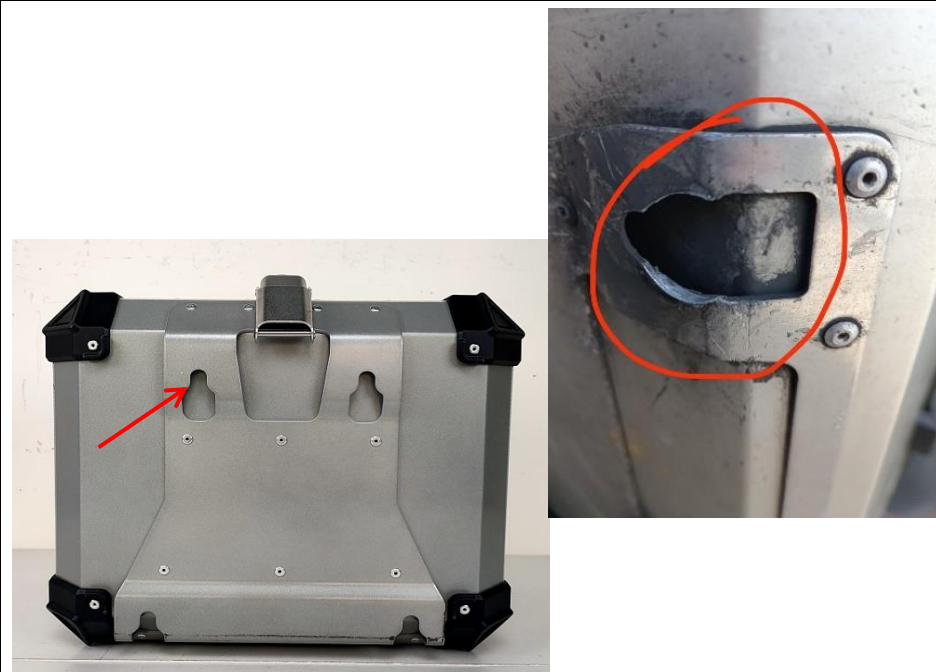
特許取得済みの「Coocase Double Locking mechanism」は、**スチールとデュポ**
ンナイロンを組み合わせで設計したクーケースオリジナルです。
 一般調達品の「カギ付きキャッチクリップ」は採用しませんでした。
 ナイロン樹脂を採用することにより、ロック接合部や金属同士で起きる「カ
 チカチ」や「チャカチャカ」音は皆無です。
 また、クリップ返し時に力を使わないので、女性ライダーも楽々！
 さらに、クリップ部は小さい羽形状で指先がかかるように工夫されています。

クーケース初期モデルもそうでしたが、多くのアルミケースは、「既製品のカギ
 付きキャッチクリップを調達採用」していると、アルミケース生産者より聞きます。
 オートバイ等のエンジン動力走行状況下での用途設計では無い製品を採用している
 場合もあると伺いました。
 また、「キャッチクリップばね」の力を、うわぶたの密着力としているので、操
 作が固く、外した時の跳ね返りがある事が多い。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース



参考アルミトップ ケース



現在市場に出回っているアルミケースのほとんどは、ケース底面にアルミやスチールのプレートがリベットや溶接などでとめられています。これは、ベースプレートが、凸設計の為、底面は凹でないと接続できないからです。

クーケースは、軽量化を目指す観点で発想を変え、独自のシステムを開発しました。「I shape nylon quick release」上記図のようにケース底面にピボットを採用し、ベースプレート面を凹、ケース側面を凸としました。

この結果、軽量化と補修しやすい構造としました。

アイシェイプナイロンクイックリリースは、補修部品の設定があり、交換が容易いです。参考として、**底面プレート付き構造に対して約1Kg以上の軽量化を実現。**

底面プレート接続タイプは、クーケースに比べて重量の差や走行使用経年劣化や、破損の際等、交換補修時の心配が残ります。クーケースも初期モデルは採用していました。

Coocase Qシリーズアルミトップ ケース

参考アルミトップ ケース



クーケースQシリーズアルミトップケースは、5052材アルミニウムt=1.5mm素材に、PVCラッピングを施し、ブラックやシルバーの単色以外に、アクティブな迷彩柄など他に類を見ないデザイントップケースを展開。
オートバイ専用トップケース専門製造メーカーとして、「こだわり」と「使い勝手」を常に考えて開発しています。